

あたらしくはいった こどもの本

秋田市立図書館ホームページURL

[https://www.city.akita.lg.jp/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

[kurashi/shakai-shogai/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

[1008469/index.html](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)



おしらせ



児童書を寄贈していただきました！&イベント情報

◎今年の夏も、「クアドーム ザ・ブ〜ン」などの施設を管理・運営する
太平山観光開発株式会社から児童書を寄贈していただきました！
夏にぴったりの本です。ぜひ、ご利用ください。

◎「夏休みは図書館へ行こう

ーみんなの読みたい！知りたい！学びたい！をお手伝いしますー」

資料展示：7月15日（火）～8月24日（日）※休館日を除く
自由研究や工作に役立つ本を展示・貸出しします。

今月のテーマ展示

『怪談・おばけ・ようかい』

●絵本（特集児童4）

●読み物・ノンフィクション

（カウンター展示1）

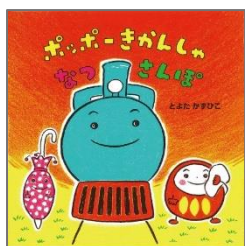
※1階児童コーナーで

ご覧ください。



えほん

寄贈：太平山観光開発株式会社



ポッポーきかんしゃ
なつさんぽ

とよたかずひこ／著

アリス館（Eト）※1歳から

おひさまギラギラあつい夏。ポッポーきかんしゃはプールの列車に変身します。今日の車掌はパラソルさん。暑さに弱い、ペンギンやシロクマが乗ってきました。頭の上にはパラソル、体はプールでちゃぶちゃぶ。快適で楽しい夏の日のおでかけです。



ライオンのあしたのいちにち

あべ弘士／作

佼成出版社

（Eア）※3歳から

アフリカの大自然の中を悠々と散歩するライオンの父さんと子どもたち。父さんは俳句をよむのが好き。散歩の途中でダチョウと出会って一句。空と大地がくつつく絶景の地平線を見て一句。大雨が降ってきて散歩はおしまいですが、明日もいい一日になる予感がします。

寄贈：太平山観光開発株式会社



カメレオンたんてい・ドロン
としょかんどろぼう

荻田澄子／作 伊藤夏紀／絵

あかね書房

（Eイ）※4歳から

図書館で事件発生！古くてボロボロの本が次々に盗まれているらしい。怪しいのは館長？ハリネズミけいさつといと、体の色を変えたカメレオンたんてい・ドロンが、夜の図書館を見張っていると、意外な人物が…。図書館の本はみんなのもの。大事にしようね。



りょこう

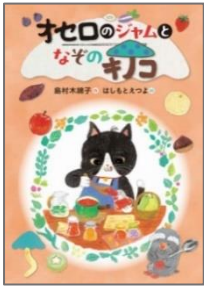
麻生知子／作

福音館書店

（Eア）※5歳から

こうたくんとおじいちゃんの二人旅。電車で駅弁を食べて、みずうみに到着。旅館の広いお風呂で温まり、ごくらくごくらく。お風呂上がりはアイスを食べ、卓球をして、ジュースとビールでかんぱーい！楽しい温泉旅の様子を、真上からのユニークな視点で描きます。

低学年向き



オセロのジャムとなぞのキノコ
島村木綿子／作
はしもとえつよ／絵
国土社
(91シ)

秋の朝、オセロは庭で見たことのない青いキノコを見つけました。キノコの根もとからあらわれたモグラのおじいさんは、5年前に黒ねこのおばあちゃんとよくそくしたジャムを食べにきたというのです。おばあちゃんは亡くなり、ジャム作りを引きついだオセロ。おじいさんの思い出の味を作れるでしょうか？



さあ、めがねをかけよう！
ヘレナ・ハラシュトヴァ／作
アナ・コーベン／絵
越智典子／訳
偕成社
(49)

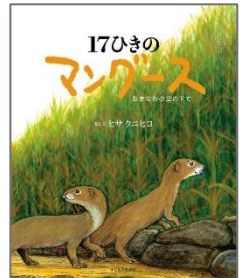
「ものが見える」って、すごいこと。この本では、目のしくみや、めがねのはたらきについてわかりやすく教えてくれます。今、きみが見えにくさを感じているなら、ためらわずに目のおいしゃさんへ行こう！きみにぴったりのめがねをかけたら、くっきりはっきりきれいに見えて、世界が広がるかもしれませんよ。

中学年向き



しおりのカチューシャ
草野たき／作
エヴァーソン朋子／画
福音館書店
(91ク)

しおりのあこがれは、1年生の時に助けてもらった神田くん。4年生になって初めて同じクラスになりますが、自分からは遠い存在だと感じるばかり。ある日、神田くんのお姉さんが付けていたのと似ているカチューシャを見つけ、遠足の日にそれを付けて行けば話すきっかけになるのではと期待しますが…。



17 ひきのマングース
おきなわの空の下で
ヒサクニヒコ／絵・文
子どもの未来社
(Eヒ)

明治の終わり頃、サトウキビを食いあらすネズミとハブを退治するため、沖縄に連れてこられた17ひきのマングース。けれども期待したようには役に立たないうえ、どんどん数が増え、沖縄固有の生き物が食べられて絶滅寸前になってしまったのです。私たち人間のくらしと自然環境、動物保護を考えるきっかけとなる絵本。

高学年以上



ぼくへのレファレンス
岩崎まさえ／作
黒須高嶺／絵
国土社
(91イ)

市民図書館へ体験学習に来たリョウは、貴重書庫の古文書を見学中にふしぎな視線を感じます。その後カウンターでは、奇妙な格好をした男の子に名指しで調べ物（レファレンス）を頼まれたのです。気になったリョウは夏休みをつかって、盛岡南部藩の一揆（いっき）についての郷土史を調べることにしました。



人類の物語
世界はちがう人どうしてできている
ユヴァル・ノア・ハラリ／著
リカル・ザプラナ・ルイズ／絵
西田美緒子／訳 河出書房新社
(20)

電話や飛行機、コンピューターもなかった大昔。ちがう国に住み、ちがう考えを持つ人同士が出会ったら、何が起きたでしょう。言い争い？戦争？ そんなことにならないように、私たちの祖先は国・言語・宗教がちがう人たちとも力を合わせるための方法を考え出したのです。さて、その方法とは？